2014関東一都六県周遊ドライブ16「第2話」

■ 第3日目・4/13(日)・晴

東京港から旧軽井沢銀座を経由して草津温泉へ

新門司港発・東京港行きのフェリーオーシャン東九フェリーの船室で、am3:30に起き出しました。およそ35時間の長い航海が、あと３時間ほどで終わるとなると、ゆっくり眠っておれません。大浴場に行き、暖かいお湯に浸かって目を覚まします。

夜明けとともにデッキに出て観ますと、東京湾は広いです。

船は大きなブリッジの下を潜って、奥の東京港へと向かって進んでいます。

この橋は、2012年に完成した東京港臨海道路に架かる東京ゲートブリッジです。

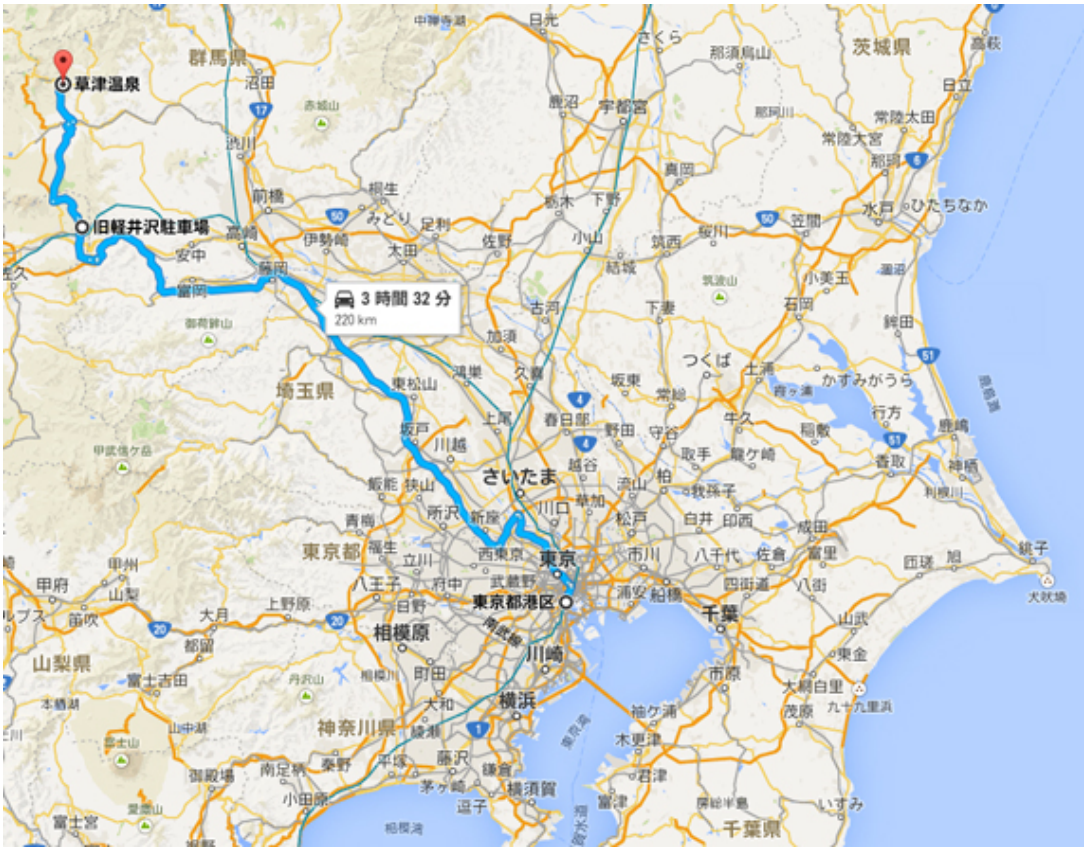
全長は2,993mで、海面からの高さは87.7mだそうです。

am6:20に接岸とのアナウンスが流れました。下船の仕度に取掛かります。

船は予定時刻通り、**am6:20□東京港に接岸しました。**

　嬉しい快晴の朝・六時半頃には上陸し、**ナビを旧軽井沢にセットして走りだします。**

旅の3日目・今日の行程は、地図に示すように草津温泉が宿泊地となります。



ワクワク・ド

キドキのドライブは、暫くして首都高速に入りました。

通勤のラッシュを迎えている首都高の運転は、緊張の連続です。

走っても走っても、なかなか首都高速を通り抜けられません。

途中・大渋滞にもあいながら、40～50分も走ったでしょうか … やっと首都高速道路を降りて、一般の高速道路に入りました。何ともホッとする瞬間です。

今日は日曜日…高速道路では、バイクのツーリングが、物凄い数の集団をなして走っています。外気温は11℃・高速の両側には田畑が広がってきました….ほっとするのどかな風景です。こうして川越市を通過 … **東京港から一時間ほど走って高坂SAに着きました。**

ここで、朝食をとりながら、嬉しいひと休みです。

次に関越自動車道を走ります。この辺りは、葉桜になっていました。

遠くに浅間山が観えています。山頂は雪に覆われています。

上信越自動車道に入り、**高速の道路脇にはレンギョウの黄色い花が咲いています。**

また、妙義山を見ながら走っています。

そうして**9時50分・横川SAに入りました。**

ここには、満開の奇麗な桜がありました。また、こぶしの花もまた奇麗です。
綺麗な桜に魅せられて、時間を忘れていました。

再び走り出すと唐松林が続きます。**碓氷軽井沢**・うすい軽井沢を通り**さわやか道路**・標高992mを通ります。**こうして、10時半・旧軽井沢銀座に到着です。**
町営の駐車場に入れて、この銀座の観光散策に入ります。

日曜日の今日・まあまあの数の観光客がいます。

正直なところ、もう少しお洒落な街かとばかり想像していました。

お昼を食べて12時20分頃・この旧軽井沢銀座を後にしました。

浅間ハイランドパークです。雪をいただいた浅間山が綺麗でした。

草津温泉へ向かう道路脇の林の中には、残雪が沢山あります。
走っている道路は、日本ロマンチック街道となっています。

何処の町だったか…..標高は1000m□11℃□GSでガソリンの補給です。

林の中には、クマザサの群生地が広がっています。**道路に仕掛けられた草津節のメロディラインで歓迎されました….草津温泉に着いたのです。**

ここ草津温泉ホテルヴィレッジが今日の宿です。庭には残雪が積もったままです。

荷物を部屋に入れて直ぐに観光に出ます。

ホテルの送迎バスで、温泉街中心のバスターミナルまで送って貰います。

そこから歩いて湯畑に向かいますと老舗の**漬け物屋**さんがありました。

草津温泉の湯畑です。

日本三名泉の1つと言われている草津温泉の湯畑です。

自然湧出量は、日本一を誇るそうで、毎分32,300リットル以上、1日に、ドラム缶約23万本分もの温泉が湧き出しているそうです。

草津のシンボルこの湯畑です。

温泉街の中心にあり、いつも湯けむりを舞い上げています。

日本有数の酸性度だそうで、殺菌作用は抜群とのことです。

湯畑の周りは、瓦を敷きつめた歩道が整備され、石柵、白根山をかたどった白根山ベンチなどが設けられています。湯上がりの散策が楽しめる公園となっています。

草津温泉の湯畑前に立つ熱の湯…ここでは、草津名物の湯もみが、草津節や草津ゆもみ唄とともに ショーとして楽しめます。

今日の宿は、**草津温泉ホテルの中沢ヴィレッジです。**

日本一の湯量の草津温泉の温泉資源や大自然を活かして、全ての世代が楽しめる、関東No1の**温泉体験パークのスパ＆リゾート**と言われています。

そして、私たちが宿泊した部屋は、草津温泉ホテルヴィレッジのタワー館で、ベルツの森に抱かれた、ヨーロピアン調の落ち着いた雰囲気のお部屋となっています。

始めての草津温泉です。まずは大浴場に行きました。

湯畑の源泉を引いた温泉だそうで、大浴場には、あつ湯・ぬる湯・かぶり湯・高温湯などがありました。…..私にはちょっと苦手な熱めの湯でしたね。

湯から上がって5時半・待ちに待ったレストランに入ります。

今回の旅では、出発してからの2日間の夕餉はフェリーの中での不自由な食事でした。

ですから今日は、何とも楽しみなホテルでの夕食です。

レストランには、すでに大勢の宿泊客がいて、とても賑やかです。

料理は自由に選べるヴィッフェスタイル…ついつい欲張り過ぎます。

この夜は、およそ二時間・満足な食事を楽しみました。

ご覧いただきましてありがとうございました。

…ではまた次回「第3話」でお会いしましょう。